

令和7年度 第3回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月25日（土） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、渡邊剛一、伊藤順子、平野和江、森田智佳、北野谷富子、中根万理
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 柊 通安（亀玉協働センター職員）出席
- 6 学校支援コーディネーター 町田和代
- 7 学 校 河内浩（校長）、吉川利行（教頭）、阿部泰幸（教務・CS担当）、村瀬美恵子（CSディレクター）、今井忍、高津陽子、森島大画、本間由美子、高林圭吾、星野亮、伊藤紅璃、中村耕介、鈴木やよい、佐藤嘉彦、前原侑希、小野弘太郎、鈴木果穂、橋本麻衣、松原岳司、西尾美緒、中村寿美英、
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター村瀬美恵子
- 10 議長の選出 議長は、前回に平野委員にお願いしてあったので確認をした。全員、異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）第1回学校評価の分析についての報告
- （2）チェンジステージの取組についての報告（各実践部長）と報告に関する御意見
- （3）令和8年度の教育課程に向けて

12 会議記録

- （1）はじめの言葉と日程の説明 挨拶

委員の皆さんには、午前中、参観会・授業公開で授業等の様子を御覧いただいた。

吉川教頭から委員総数7名全員の出席があり本会は成立している旨の報告があった。

太田会長から、参観できて子供たちの成長にうれしく思った。祭りの体験が絆を深め楽しい思い出となったと思う。図工（のこぎりの扱い方）の授業にボランティアの協力ができた。子供の生活や子育て、家庭等みんなで話し合っ進めたいとの挨拶があった。

続いて、河内校長から、本日の講話で、スマホとタブレットの対応、SNSトラブルの低年齢化、等を見直す機会を確認した。2学期は子供の主体性の発揮に向けて、特技発表会、委員会活動、スポーツジム、等の子供自身の企画と運営推進の学校生活を進める。キーワードは主体性があり、賑やかで活気づく学校を目指している。本日は教育課程の振り返りをお願いしたい、等についての話があった。

次に、太田会長が前回会議録を読み上げた。委員全員で内容を確認し、異議なくこれを承認した。

（2）熟議

①第1回学校評価についての報告

阿部教務より、前期学校評価の結果と全国学習状況調査（6年生）の結果と分析、今後の方向性について説明があった。

○児童の学校生活の満足度は高く良好と捉える。学校に行くのが楽しい児童が増えた。心配される項目としては、体の健康や安全を考える生活・基本的学習のルールが身に付く・「こうなりたい」との思いをもつ、があがっている。

○保護者は肯定的な回答が多い。御家庭で温かく認めて下さっている成果だと考える。しかし、主体性や粘り強さ、進んで取り組む姿に家庭は不十分と感じている。

○やさしい子：子供は頑張っているが、親はまだ頑張れると受け止めている。

かしこい子：学習のルール、見通した学び合い等子供は頑張っているが、親と教職員は不十分と感じている。

たくましい子：最後まで取り組む、健康で安全な生活を考えるは、子供は頑張っていると感じているようだが、親と教職員はまだ頑張れるのではないかと受け止めている。

○全国学習状況調査（6年生）の結果と分析

自分や友達の良いところを見付けたり、困っている友達に進んで声を掛けたりする優しい姿は学校でもよく見られる。しかし、学校のため地域のために、自ら進んで工夫しながら関わろうとする意欲については、物足りなさを感じる結果となっている。

2学期からは、子供たちが主体的に活動・学習を進める姿を目指して取り組む。

委員会活動：子供が企画するイベントを随時開催、縦割り遊びの充実。

デジタル学習基盤の活用と自由進度学習の試行、自ら学ぶ授業構成の推進を学校全体で推進する。

委員全員で内容を確認して、学校の取り組みに対して、異議なくこれを承認された。

②チェンジステージの取組についての報告（各実践部長）と報告に関する御意見

○やさしい子部（前原実践部長）

目標：ありがとうを伝えよう週間と時と場に合った挨拶、温かな言葉遣いをする。

学習カード振り返り・挨拶盛り上げようイベント（ニコニコ委員・わくわく委員）

温かい言葉掛けをしよう週間（特技発表会・学活や道德の時間・えんタイム活用）を実践をする。

○かしこい子部（高林実践部長）

目標：発表の仕方・見通しと一人学び・タブレットの活用と教室内の掲示を工夫する。

ミライシードやICT活用して話し合う・校内廊下の掲示で学年間の交流する。

自学コンクールを学級で実施し称揚・朝のドリルタイムの継続

○たくましい子部（佐藤実践部長）

目標：保健指導（保健委員会）・防災指導（防災訓練）・防犯指導（共通理解）に重点を置き、健康な身体の育成に努める。

保健：ノーマディアデー毎月1日、食育「残食を減らそう」を放送委員会と給食委員会で進める。養護教諭のミニ講座をする。

体力向上：アラタマジム・持久走記録会を実践する。

安全な生活；計画的な防災・防犯・交通安全の指導に努める。

委員全員で内容を確認して、学校の取り組みに対して、異議なくこれを承認した。

③令和8年度の教育課程に向けて

吉川教頭から次のような説明があった。3つの部に教職員と委員が入り話し合う・SWOTを活用して環境分析を行い、本校の強みと弱みを洗い出す・強みをどのように更に伸ばすか、弱みをどう解決するかを話し合い、来年度の教育課程にいかしていく。

○グループ協議

「やさしい子部」「かしこい子部」「たくましい子部」の3つのグループの話し合いに、教職員と委員の方が入り意見交換を行った。以下の意見が出された。

◇「やさしい子部」グループ（司会：前原 記録・報告：今井）

原伊藤・橋本・西尾・太田会長・平野委員・中根委員

・祭りの経験が豊かな校外学習や校外での挨拶につながる。

- ・やさしい気持ちを持ち、あいさつは学校内ではできる子が多い。

具体的な目標を作り、失敗をおそれないで真剣に取り組む子を目指す。

◇「かしこい子部」グループ（司会：高林 記録・報告：耕介）

本間・やよい・松原・渡邊委員・森田委員、柊オブザーバー

- ・素直な子、黙想、あいさつ、聞く態度が育っている。背景として内部環境、ルールの習慣化が整っている。
- ・授業で見通しをもてると発表できるようになり効果が出る。敷かれたレールが無くても取り組めるような子供に育っていくと考える。
- ・協働センターは生涯学習を基盤とした企画、運営をしている。
「水曜夕方は協働センターで自習した後に遊ぼう」(居場所づくり)をしている。
学校のノーメディアデーとセンターの企画を重ねたらどうかと考える。
(柊オブザーバー)

◇「たくましい子部」グループ（司会：佐藤 記録・報告：小野）

高津・森島・星野・果穂・寿美英・伊藤委員・北野谷委員

- ・本校は地域とのつながりが強く、地域〈ボランティア〉が学校に入り、見守り、給食、プール、読み聞かせ・校外学習などの協力があり学校としては有り難い。
反面、ボランティアの方の名前を知らない子供たちの実態がある。名前を知り感謝の気持ちを知らせる方法を工夫したい。豊かな人間関係の育ちにつながる。
- ・遊ぶ場所が少ない現状がある。放課後の過ごし方、友達の家でのトラブル有り。
- ・登下校時の見守りと家の近くでの迎えを行ってほしい。SNS 問題は4年生が勝負

○協議後、委員より以下の御意見をいただいた。

- ・やさしい子

学校はよくやっている。地域でできる事は学校に協力していく。（太田会長）
この会に参加して、本校の教育の理解ができた。広めていきたい。（中根委員）
子供と視線を合わせて、忙しい中でも一生懸命生活したい。（平野委員）

- ・かしこい子

先生方の一生懸命さがよく分かった。学校と地域との連携の深まりに努めていきたい。（渡邊委員）
学校の学びと地域の学びの連携は大切と考えて進めていきたい。（森田委員）
センター事業の「水曜夕方の自習遊び」など、色々な事業を前向きに考えていく。推進しながら情報交換と橋渡しをしていく。（柊オブザーバー）

- ・たくましい子

地域と子供の関係の深まりを願う。ボランティアの方に児童手作りの名札を付けてもらったり、感謝デーやメッセージ交流の場を設けたりして、名前を呼び合う関係が出できたらどうでしょうか。（北野谷委員）
ボランティアをしていると、本校の教育の熱心さが分かり感謝です。（伊藤委員）

委員全員で内容を確認して、令和8年度の教育課程に向けて、異議なくこれを承認した。

13 その他

北野谷委員から、次の申し出がされた。

登下校について、大変危険な状況の場所があり、ボランティアの協力を得て交通整理をしている現状がある。PTA の方の旗振りの状況はどうか。皆さんと情報共有、御意見をいただきたい、との申し出がされ、下記のご意見をいただいた。

- ・現状を知らせ、時速 30Km 制限の規則を市に陳情したらどうか。
- ・見守りの保護者とボランティアの方＋交番＋・・・チームで子供の安全を確保する。

14 連絡事項

- (1) 委員の皆さんには令和7年度学校運営委員会自己評価表とチェックシートの協力の依頼があった。
- (2) 第4回学校運営協議会(2月17日(火))を予定しており、議長につきましては、名簿順で森田委員への依頼があった。